

－ 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。－

「使用上の注意」改訂のご案内

2024年1月

血液凝固阻止剤

日本薬局方 ロック用ヘパリンナトリウム液

ヘパフラッシュ 10単位/mLシリンジ 5mL

HEPAFLUSH 10Units/mL Syringe 5mL

ヘパフラッシュ 10単位/mLシリンジ 10mL

HEPAFLUSH 10Units/mL Syringe 10mL

ヘパフラッシュ 100単位/mLシリンジ 5mL

HEPAFLUSH 100Units/mL Syringe 5mL

ヘパフラッシュ 100単位/mLシリンジ 10mL

HEPAFLUSH 100Units/mL Syringe 10mL

製造販売元：テルモ株式会社

平素より格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社医療用医薬品『ヘパフラッシュ10単位/mLシリンジ5mL』、『ヘパフラッシュ10単位/mLシリンジ10mL』、『ヘパフラッシュ100単位/mLシリンジ5mL』、『ヘパフラッシュ100単位/mLシリンジ10mL』の電子添文を改訂致しましたので、ご案内申し上げます。

<改訂内容>(_____ : 下線部追記、 _____ : 破線部削除)

改訂後	改訂前
9. 特定の背景を有する患者に関する注意 9.1 合併症・既往歴等のある患者 9.1.5 ヘパリン起因性血小板減少症（HIT：heparin-induced thrombocytopenia）の既往歴のある患者 治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと。投与が必要な場合は、本剤投与後は血小板数を測定すること。HIT があらわれることがある。[8.3、11.1.2、15.1 参照]	9. 特定の背景を有する患者に関する注意 9.1 合併症・既往歴等のある患者 9.1.5 ヘパリン起因性血小板減少症（HIT：heparin-induced thrombocytopenia）の既往歴のある患者 治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと。HIT がより発現しやすいと考えられる。[8.3、11.1.2、15.1 参照]

<改訂理由>：自主改訂

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

ヘパリン起因性血小板減少症（HIT）の既往歴のある患者に関する注意を、最新のガイドライン¹⁾及び文献^{2)、3)}に基づいた内容に改訂しました。

1) ヘパリン起因性血小板減少症の診断・治療ガイドライン。血栓止血誌 2021；32：737-782

2) Warkentin TE. et al.：Blood 2014；123：2485-2493

3) Dhakal P. et al.：Clin Appl Thromb Hemast 2015；21：626-631

ご使用に際しましては、電子添文をご参照ください。「添文ナビ」でGS1 バーコードを読み取ってご確認いただけます。

ヘパフラッシュ 10 単位/mL シリンジ 5mL



(01)14987350025538

ヘパフラッシュ 10 単位/mL シリンジ 10mL



(01)14987350025453

ヘパフラッシュ 100 単位/mL シリンジ 5mL



(01)14987350025576

ヘパフラッシュ 100 単位/mL シリンジ 10mL



(01)14987350025491

今般の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行「DRUG SAFETY UPDATE No.323 (2024年1月)」に掲載されます。